

年間授業計画様式例

東京都立芝商業高等学校令和4年度 教科 商業 科目 ビジネス経済応用 年間授業計画

教科：ビジネス 科目：ビジネス経済応用 単位数：3単位

対象学年組：第2学年流通系列)

教科担当者：(AB組) (CDE組)

使用教科書：(ビジネス経済応用(実教出版))

使用教材：()

	指導内容	科目 ビジネス経済応用の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	オリエンテーション		関心・意欲・態度 技能・表現 思考・判断	1
	連携授業2回		関心・意欲・態度 技能・表現 思考・判断	5
	第5章 起業の手続き	起業の意義と経営理念の重要性, また, 起業に対する支援制度について理解する。 事業目的や商号の決定, 定款の認証と登記など, 株式会社設立のための手続きの流れについて理解する。	関心・意欲・態度	1
	第5章 新たなビジネスの創造	わが国における新たなビジネスの現状について, 具体的な事例を通して理解する。 具体的なテーマを設定し, 手順に沿って, ビジネスを取り巻く状況を踏まえた新たなビジネスを考察する。	関心・意欲・態度	1

	指導内容	科目 ビジネス経済応用の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	連携授業		関心・意欲・態度 技能・表現 思考・判断	2
	第5章 地域ビジネス事情	身近な地域のビジネスの動向やビジネスに役立つ資源について、調査や研究を行わせる。 調査や研究の結果をもとに、地域産業振興のための具体的なビジネスアイデアを考案し、ビジネスプランを作成する実習をする。	関心・意欲・態度	1
	第1章 産業構造の変化と労働	わが国における産業構造の移り変わりや、サービス構造化の進展要因について、労働市場の変化、消費構造の変化を通して理解する。	関心・意欲・態度	1
	連携授業		関心・意欲・態度 技能・表現 思考・判断	4

	指導内容	科目 ビジネス経済応用の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	第1章 サービス産業の現状	経済発展にともなって出現した新しいサービス産業の役割と、その特徴について理解する。 対個人サービス産業や対事業所サービスの現状について、ビジネスの機会をとらえて成長した企業の具体的な事例を通して理解する。	関心・意欲・態度	1
	連携授業		関心・意欲・態度 技能・表現 思考・判断	2
	第2章 企業の国際化・グローバル化	企業は成長を求めて国際的なビジネス活動を展開し、その活動が国際化からグローバル化へ進展していることを理解する。	関心・意欲・態度	1
	連携授業		関心・意欲・態度 技能・表現 思考・判断	2
	第2章 国際化の進展と国際収支		関心・意欲・態度 技能・表現 思考・判断	1
		国際収支の構造について理解する。 国際収支と国内総生産などの指標との関係、また国内総生産の三面等価の原則について理解する。 国際収支の発展段階説を通して、債権国と債務国について理解する。 わが国における経済の国際化の進展について、国際収支の変化と関連付けて理解		

	指導内容	科目 ビジネス経済応用の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	期末考査		知識・理解 技能・表現 思考・判断	1
	連携授業		関心・意欲・態度 技能・表現 思考・判断	2
7 月	第2章 貿易の利益と課題	貿易が国民生活の維持および産業発展に必要不可欠であることを理解させ、また、貿易が比較優位の原理に基づいて行われることを理解する。	関心・意欲・態度 技能・表現 思考・判断	2

	指導内容	科目 ビジネス経済応用の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	科目 ビジネス経済応用の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	第2章 貿易の利益と課題	貿易が国民生活の維持および産業発展に必要不可欠であることを理解させ、また、貿易が比較優位の原理に基づいて行われることを理解する。	関心・意欲・態度	1
	第2章 国際資本移動	国際資本移動の形態と役割について理解する。 金融のグローバル化について、具体的な事例を通して理解する。 欧米の金融問題や、その問題を踏まえた金融規制を通して、国際資本移動の現状と今後の課題について考察する。	関心・意欲・態度	1
	連携授業		関心・意欲・態度 技能・表現 思考・判断	2
	第2章 外国為替	世界各国で異なる通貨を使用していること、その通貨を一定の通貨に交換する必要がある場合を理解する。	関心・意欲・態度	1
	連携授業		関心・意欲・態度 技能・表現 思考・判断	4

	指導内容	科目 ビジネス経済応用の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	連携授業		関心・意欲・態度 技能・表現 思考・判断	2
	中間考査		知識・理解 技能・表現 思考・判断	1
	連携授業	中間発表	関心・意欲・態度 技能・表現 思考・判断	4
	第3章 金融取引の発達	金融取引の概念およびそのリスクについて理解する。 取引される金融商品について確認させ、家計および企業の金融取引の現状を理解する。	関心・意欲・態度	1
	連携授業		関心・意欲・態度 技能・表現 思考・判断	2

	指導内容	科目 ビジネス経済応用の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	第3章 貯蓄と投資の動向	直接金融と間接金融について、それぞれ金融機関との関わりを通して理解する。 経済活動における貯蓄と投資の意義について理解する。 わが国における貯蓄と投資の動向について理解する。	関心・意欲・態度	2
	連携授業		関心・意欲・態度 技能・表現 思考・判断	2
	第3章 金融市場と資本市場の役割	金融市場の概念とその意義について確認し、企業の営業活動と資金調達を通して短期金融市場の概要について理解する。 資本市場の概要について、債券市場と株式市場を中心に理解する。	関心・意欲・態度	1
	第3章 金融市場と資本市場の課題	金融庁の役割とその諸政策を通して、金融市場・資本市場を支える行政組織について理解する。 経済の国際化による金融市場・資本市場への影響と今後の課題について考察する	関心・意欲・態度	1
	連携授業	最終発表	関心・意欲・態度 技能・表現 思考・判断	4

	指導内容	科目 ビジネス経済応用の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	2 学期末考査		知識・理解 技能・表現 思考・判断	1
	連携授業		関心・意欲・態度 技能・表現 思考・判断	4
	第 4 章	<p>日本的経営の特色について，基本的な知識や概念の理解を通して考えする。 経営理念の重要性について考察する。 日本的経営の課題を，具体的な事例をもとに考察する。</p>	関心・意欲・態度	2

	指導内容	科目 ビジネス経済応用の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	第4章	わが国の企業をとりまく外部環境の変化についての知識を身に付け、企業経営に影響を及ぼしている現状について理解する。	関心・意欲・態度	1
	第4章	外部環境の変化の過程でどのような企業経営が必要か、その方向性を考察する。		1
	第4章	企業の社会的責任について、その内容を理解するとともに、これからの企業経営のあり方について考える。		1
	第4章	企業の社会的責任を、具体的な事例を通して把握させ、その質的变化や環境問題への取り組み、社会貢献が求められている現状について考察する。		1
第4章	法令遵守、企業統治、説明責任の重要性などについて、具体的な事例を通して理解	関心・意欲・態度	3	
検定勉強	わが国の企業の海外進出の経緯とその変化について理解する。また、国際経済の中で何が重要なのかを企業の側面から理解する。			
検定勉強	企業経営の現地化や、地域社会への貢献の必要性について、具体的な事例を通して理解する。	関心・意欲・態度 知識・理解	3	

	指導内容	科目 ビジネス経済応用の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	連携授業		関心・意欲・態度 技能・表現 思考・判断	9

	指導内容	科目 ビジネス経済応用の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	連携授業		関心・意欲・態度 技能・表現 思考・判断	9
	学年末考査		知識・理解 技能・表現 思考・判断	1